

～地域移行を利用し施設から地域へ～

地域移行とは「施設・病院から地域へ」を支援するサービスです。地域における生活に移行するために重点的に支援を必要としている方に対して相談や支援を行います。このサービスでは施設・病院中から新しい生活の準備等の支援を行うことで、障がいのある方の地域生活への円滑な移行をめざしています。

利用者様のご家族様にインタビュー



今回は施設から自宅へ帰られたご利用者様のお母様にインタビューさせていただきました。

地域移行を利用される以前の施設での生活はどうか？

施設に3年間お世話になりスタッフさんをはじめ皆様に大事にしてもらいました。息子が施設で生活しているときも自宅で生活しているときも、やはり家族の関わり方がとても大事で、施設でお世話されているからと言って家族が何もしないのはダメです。病状を悪化させることだけはさけたかったため、施設と私が手を取り合い一緒に前を向いて進みました。

当事業所の相談員と長期にわたり準備をしておりましたが、今の生活はどうか？

施設から自宅に帰るにあたって、私自身、高齢になることから息子が5年後に自立して生活を送ることを目標としました。

現在は、週1回のリハビリと週4回のデイサービスの利用の他、私が毎日マッサージをしています。天気の良い日は杖を使って自宅周辺を散歩するようにしており、5段くらいの階段やスロープなども昇り降りできるようになってきています。自宅へ帰って約1年になりますが、一度も車椅子を利用することなく、努力の甲斐があり施設で生活していた時より状態は良くなっています。

5年後とおっしゃっていましたが、どのようにお考えですか？

私は、自分がいなくなったとき、息子が自宅で居宅介護を利用して生活するのではなく、グループホームに入居して自分のことは自分でする生活をしてもらいたいと考えています。

地域移行を考えていらっしゃるご家族様に一言お願いいたします。

私自身、体力・精神的にもつらいときがありましたが、絶対に良くなると前向きな気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思っています。

